図書館だより

2023. 6
牛久栄進高校図書館

梅雨の時期特有のムシムシした日が続いていますね。こんなときこそ、朝早くからの読書や学習に勤しんでみてはいかがでしょうか？　考査期間は図書館の中も熱気にあふれていますが、それでも朝はさわやかで新鮮な雰囲気を感じます。朝日が射す中、本や問題集などをめくる音、筆記用具のカリカリという音が響く図書館で、真剣なまなざしで取り組んでいる仲間がたくさんいます。良い習慣づくりは自分が変わる、成長するための第一歩です。

毎年恒例の七夕飾りの笹を用務員さんが図書館前に用意してくれました。早速、たくさんの願いを込めた短冊が飾られていますね。中国の五行説により、短冊の色は五色です。それぞれどんな意味があるのかは、図書館前の短冊のコーナーに掲示していますので、確認してみてください。皆さんの願いが叶いますように！

◇本屋大賞を的中！今井　凛さん（2 年）のおすすめ本

今年の本屋大賞(第１位)は、凪良ゆうさんの『汝、星のごとく』でしたが、　昨年度末の図書館の企画に投票してくれた現２年次生の今井凛さんの予想が見事的中しました。ノミネートされた作品はどれも優れたものばかりで、大賞を当てるのは本当に難しいんですよね。今井さんに感想をうかがってみました。

正直驚きしかないです。候補の中で、私が唯一読んだことのある著者の本でしたので、この本を選びました。凪良ゆうさんの本は過去に本屋大賞をとったことがあり、二度も選ばれるなんてすごいと思いましたし、この人の本をたくさん読んでみたいと思いました。ちなみに、これを機にまた本を読み始めました。本当は私が当てた本を読みたいと思っていたのですが、私の住む市の図書館で予約したところ、167 番目でした（笑）。

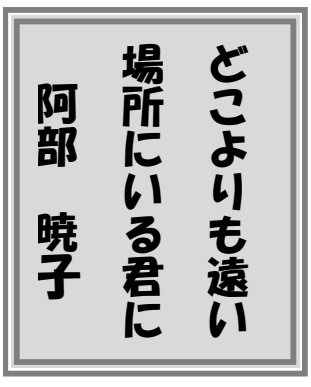
凪良さんの本は栄進図書館でも人気がありますね。貸出中のときも多いですが、予約もできますので、未読の人はぜひ読んでみてはいかがでしょう。さらに、今井さんからおすすめ本を２冊紹介していただきました。

三秋 縋　『三日間の幸福』

この本のあらすじをとても簡単に言うならば、主人公が三ヶ月だけを残して自分の余命を売り、その残り三ヶ月を過ごす、そんな本です。これ以上言ってしまうと、つまらなくなってしまうかもしれないのでやめておきます。そして、『三日間の幸福』は、この本を読むあなた次第で変わってくると思います。

少しでも興味を持った方、「死ぬこと」「幸福とは何か」について考えたことのある方、少し変わった世界観を見てみたいと思う方は、ぜひ読んでみてください。もし読んでくださるなら、あとがきも忘れずに。

阿部　暁子　『どこよりも遠い場所にいる君に』



ある秘密を抱えた月ヶ瀬和希は、知り合いのいない環境を求めて離島の高校へ進学。他社との交わりを極力避けて生活していた和希の前に、突如謎の少女、1974 年から来たと言う七緒が現れる。

和希と仲の良い友達やちょっと柄の悪い知り合いの男性との会話にクスッと笑ってしまったり、思わず涙ぐんでしまうようなシーンがあったりと、主人公の感情がまるで自分のことのように響いてくるような、気が付いたらのめり込んでしまう本です。この本の良さを上手く書けない自分が恨めしいと思うくらいには、素晴らしい本です。拙い紹介文ですが、少しでもこの本に興味を持てたらぜひ、絶対読んでみてください。

◇栄進祭 POP コンテスト～第１位から第５位までを発表！～

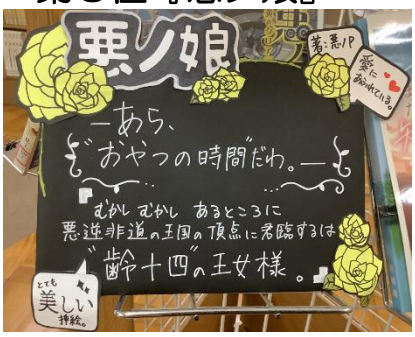
７月上旬まで図書館入口付近に本と一緒に展示中です。

6/3（土）の栄進祭一般公開では、例年恒例の図書委員会主催古本市と初めての試みとなった POP コンテストを実施しました。なかなかの力作がそろいました。栄進祭当日に生徒の皆さん、一般の方から投票していただいた結果、第１～５位の作品が決まりましたので紹介します。

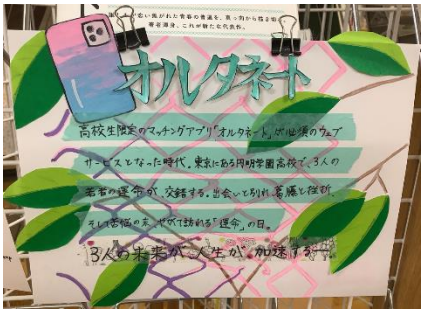
第１位『緋色の研究』

第２位『山月記』

第３位『悪ノ娘』



第４位『オルタネート』



第５位『花束は毒』

読書感想文コンクールの詳細は HP で確認してください。下記の QR コードからアクセスできます。応募票もダウンロードできます。

◇第 69 回青少年読書感想文コンクール「課題図書」

※字数は 400 字詰原稿用紙４～５枚
校内締切は９月 15 日（金）
自由図書部門もあります。

『ラブカは静かに弓を持つ』（安壇美緒）
孤独な青年・橘は、上司からの命令で音楽教室に潜入調査へ。チェロ講師・浅葉の生徒となるが、やがて彼の演奏に魅了され…。

『タガヤセ！日本　：「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』（白石優生）
農業ってこんなに面白い！　最新の農業から、実はスゴい日本の農作物のこと、さらには日本の農業の未来までを語る１冊。

『昆虫の惑星：虫たちは今日も地球を回す』（アンヌ・スヴェルトルップニティーゲソン 著　小林玲子 訳）
ヒトは、多くを昆虫に依存している――。北欧の女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へ誘うノンフィクション。

◇新着本紹介

池澤　夏樹	『日本文学全集』26～30	阿部　智里	『空棺の烏』、『玉依姫』
香月　美夜	『本好きの下剋上』		『弥栄の烏』、『烏百花　蛍の章』
	第１部兵士の娘Ⅱ・Ⅲ、第２部、第３部		『烏百花　白百合の章』
衣笠　彰梧	『ようこそ実力至上主義の教室へ』	青山　美智子	『お探し物は図書室まで』
七月　隆文	『ケーキ王子の名推理』５・６	西尾　維新	『戦物語』
荻田　泰永	『PIHOTEK　北極を風と歩く』		『掟上今日子の忍法帖』
ｻﾞ･ｷｬﾋﾞﾝｶﾝﾊﾟﾆｰ	『がっこうにまにあわない』		『掟上今日子の家計簿』
湯本　香樹実	『橋の上で』		『掟上今日子の備忘録』
たてのひろし	『ねことことり』		『タスキメシ　五輪』
石田　衣良	『池袋ウェストゲートパーク』15 絶望スクール、16 獣たちのコロシアム	『体育学部・スポーツ科学部』、『情報学部』	
千種　創一	『砂丘律』	『歯学部　社会福祉学部』、『芸術学部』	
	『千種創一歌集　千夜曳獏』	『生活科学部・家政学部』	
	『千種創一詩集　イギ』	『航空宇宙エンジニアになるには』、	
阿部　智里	『烏は主を選ばない』、『楽園の烏』	『声優になるには』、『外交官になるには』	
	『黄金（きん）の烏』	『介護福祉士になるには』	
		『英検２級過去６回全問題集　2023 年度版』	